

こだま俳壇(六月句会)

夏芝居はねて出でゆく雨の街
名を知れば振りてみたしよ小判草
読みさしの頁開きて梅雨ごもり
脇道の墓子供等を通せん坊
梅雨なれど陽を求めんと人と亀
梅雨晴天こどもがはしゃぐ水溜り
荒梅雨や濁流街を一呑みに
梅雨寒に黒々と立つ地藏堂
走り梅雨堤防に這ふ蝸牛
鮎焼いて夫と一献傾ける
梅雨寒や腕摩りつつ立話
マネキンの眩しき腕更衣
紫陽花の窓辺をかざり外は雨
晴れ晴れと今年の茶刈り終わりけり
荒梅雨や山小屋しかと閉ざしをり
甥の手で伸びをしている守宮君
黙々と寺の石段若葉風

中野みどり
島田多嘉子
友井眞言
白井保次郎
並木まり子
瀧澤正行
角田英昭
本山文子
後藤貞夫
小室豊子
柳瀬節子
田中一男
常世田芳子
中村桂子
木村武子
高橋和江
松尾佐知子

梅雨晴れや逆さに並ぶ色長靴

講師 太田土男先生